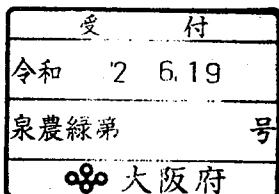


(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和2年6月19日

大阪府泉州農と緑の総合事務所長 殿



提出者

住 所 大阪府岸和田市岸城町7番1号

氏 名 岸和田市長 永野 耕平

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号072-439-4333

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	磯ノ上下水処理場
事業場の所在地	大阪府岸和田市磯上町3-4-1
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	36 水道業
②事業の規模	高級処理水量 7,800m ³ /日 (H31年度日平均)
③従業員数	9人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成31年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	下水汚泥
	排出量	20747 t	25 t
	(これまでに実施した取組) 下水処理工程において生物反応の活性化に伴う有機汚泥の消化による汚泥の減量化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	下水汚泥
	排出量	20700 t	25 t
	(今後実施する予定の取組) 下水処理工程において生物反応の活性化に伴う有機汚泥の消化による汚泥の減量化		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

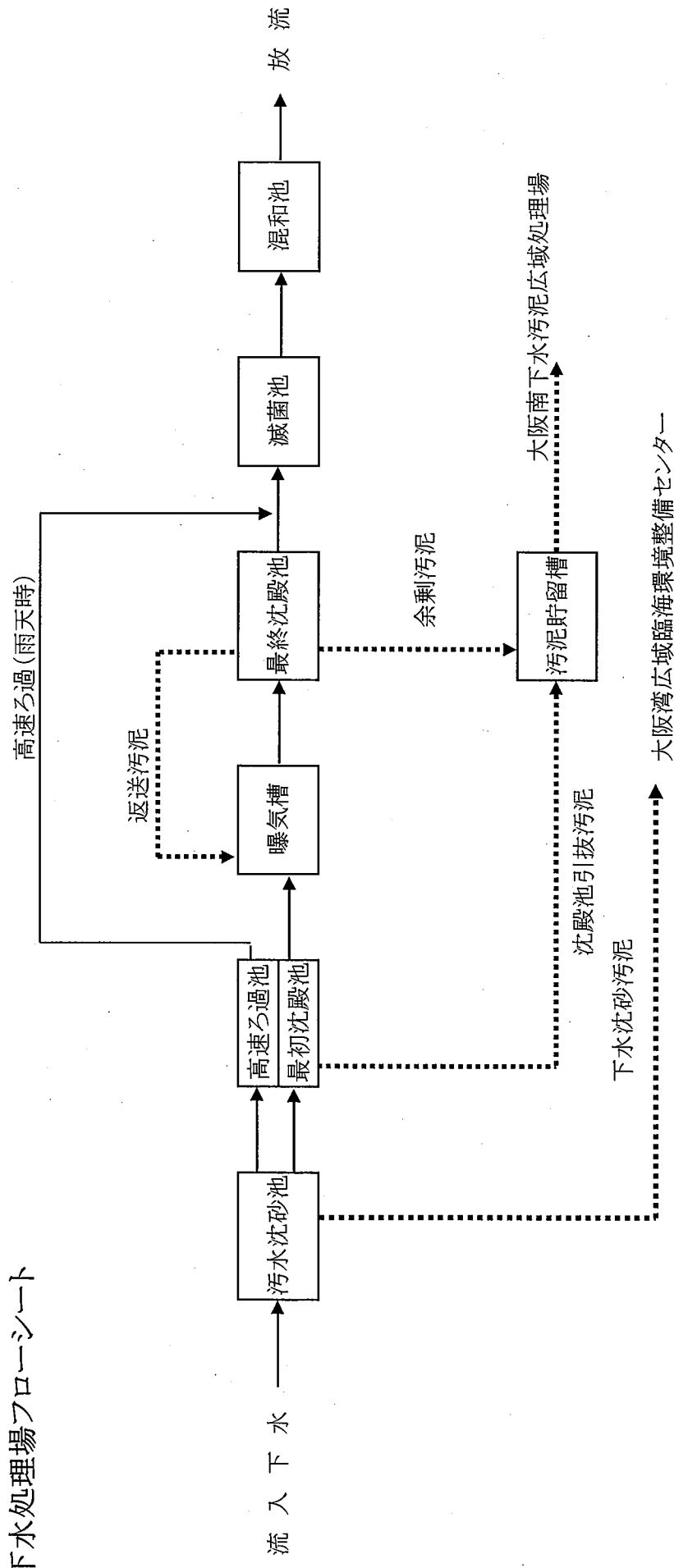
①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t t
(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	下水汚泥
	全処理委託量	20747 27037 t	25 49 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	20747 27037 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	下水汚泥
	全処理委託量	20700 t	25 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	20700 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄			

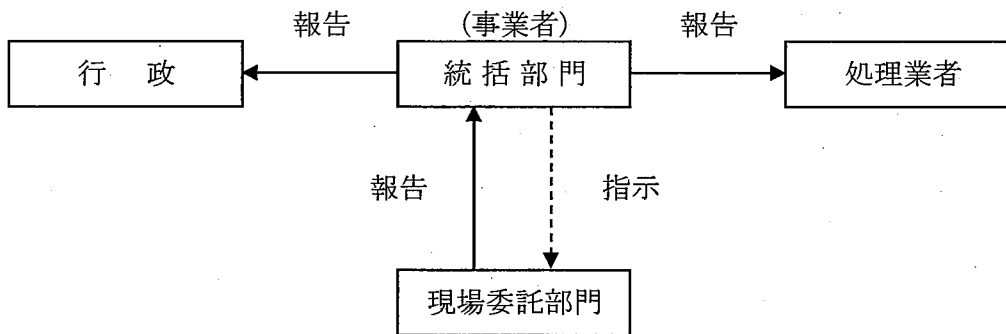
磯ノ上下水処理場フローシート



大阪湾広域臨海環境整備センター

管理体制図及び各部署の役割

管理体制図



各部署の役割

統括部門

- 産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握
- 処理業者委託の委託契約、委託量、委託伝票(マニフェスト)等の管理
- 産業廃棄物の適正管理及び減量化等に関すること
- 産業廃棄物処理計画の策定及びその実施
- 行政に対する報告等

現場委託部門

- 施設の維持管理点検等
- 産業廃棄物の分析
- 産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の記録の作成
- 上記内容を報告